

「思考し、表現する力」を高める実践モデルプログラムとの関連

見いだす

自分で取り組む

広げ深める

まとめあげる

中・国語科

モデル文を読んで、構成や表現、工夫点など気付いたことを**共同編集シート**に書き込み、課題を明確にする。

1 学習場面

協働での意見整理（協働学習）

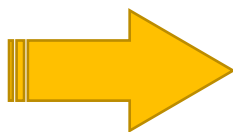
2 本時の目標

随筆を書く上で、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができる。

3 授業内容をアップデート

Before

教師は気付いたことを何名かの生徒に発表させる。



After

生徒は1人1台端末を使って、気付いたことを**共同編集シート**に打ち込んでいく。

4 学習のポイント

○期待される効果 ★留意点

○自分にはない気付きについて、**より多くの他生徒の気付きを共有**することができる。

★教師がポイントを教え与えるのではなく、生徒自身に気付かせ、共有を図ることで、主体的に学習に取り組むことができるようにする。

モデル文を読んで随筆文を書く際に大切にすることを見付けよう。

名前	見付けたこと・気付いたこと（構成・表現・工夫点等）
〇〇 〇〇	会話を取り入れて、描写が想像できる。登場人物の行動や態度が具体的でわかりやすい。
△△ △△	「〇〇」の部分は比喩が使われていて、印象が強く残る。また、「〇〇」では読者の共感を誘う内容があり、とても興味を引いた。
□□ □□	身近な出来事を題材にしている、読み手の共感を誘う場面がいくつもあった。わかりやすく読みやすい。
◇◇ ◇◇	



共同編集なので、他生徒の気付きをすぐに確認することができます。

5 情報活用能力との関連

課題の設定	情報の収集	整理・分析	まとめ・表現	振り返り・改善
発見	収集	整理、比較、処理、統計	形成、発信、伝達、表現、創造	振り返り、改善

「思考し、表現する力」を高める実践モデルプログラムとの関連

見いだす

自分で取り組む

広げ深める

まとめあげる

中・国語科

プレゼンテーションアプリを用いて、スライドごとに文書を作成し、自分の考えを形成する。

1 学習場面

表現・制作（個別学習）

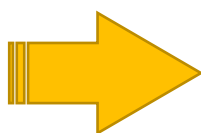
2 本時の目標

書く内容の中心が明確になるように、随筆における段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えることができる。

3 授業内容をアップデート

Before

生徒はワークシートや原稿用紙に書いていく。



After

生徒は1人1台端末を使って、**プレゼンテーションアプリ**を開き、**スライドごとに**文章を作成する。

4 学習のポイント

○期待される効果 ★留意点

○端末上であれば、**文章の書き直し、挿入、削除が容易**で、構成に意識を持っていくことができる。

★特に随筆は色々な構成方法があるので、1パターンで考えないように注意する。

5 情報活用能力との関連

課題の設定	情報の収集	整理・分析	まとめ・表現	振り返り・改善
発見	収集	整理、比較、処理、統計	形成、発信、伝達、表現、創造	振り返り、改善

「思考し、表現する力」を高める実践モデルプログラムとの関連

見いだす

自分で取り組む

広げ深める

まとめあげる

中・国語科

文書作成アプリ、プレゼンテーションアプリ等のコメント・付箋機能を使って、感想や意見を伝え合い、友達と互いに学び合う。

1 学習場面

協働での意見整理（協働学習）

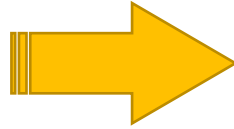
2 本時の目標

読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えることができる。

3 授業内容をアップデート

Before

原稿を交換し、読み合い、紙付箋や感想用紙を記入して、渡し合う。



After

原稿を端末上で読み合い、コメント・付箋機能を使って、感想や意見を電子上に貼り付ける。

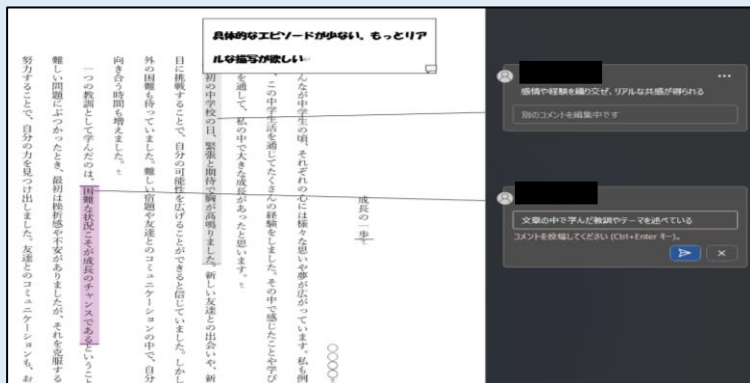
4 学習のポイント

○期待される効果 ★留意点

○一つの原稿を複数人で確認することができるので、**より多くの感想や意見を効率よく得る**ことができ、新たな発見や改善点に気付く。

○意見や感想を基に推敲する際、**原稿の追記や削除が容易**となる。

★清書については、言語活動の目的や実態に応じて、「ICT」か「手書き」かを選択する。



コメント機能を用いて、共有活動を行うことで、随筆文を書くために必要なことに改めて気付いたり、考えを広げ深めたりすることにつながります。



5 情報活用能力との関連

課題の設定	情報の収集	整理・分析	まとめ・表現	振り返り・改善
発見	収集	整理、比較、処理、統計	形成、発信、伝達、表現、創造	振り返り、改善

「思考し、表現する力」を高める実践モデルプログラムとの関連

見いだす

自分で取り組む

広げ深める

まとめあげる

中・国語科

共同編集シートにより、本単元の学びの振り返りを行い、生徒同士で振り返りを共有し、思考の過程を振り返る。

1 学習場面

発表や話し合い（協働学習）

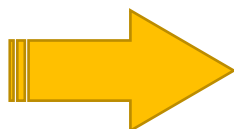
2 本時の目標

読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章の良い点や改善点を見いだすことができる。

3 授業内容をアップデート

Before

生徒は振り返りをノートやワークシートに記入する。



After

生徒は**共同編集シート**に振り返りを入力し、他生徒と振り返りを**共有**する。

4 学習のポイント

○期待される効果 ★留意点

○協働編集シートに入力することで、**他生徒の振り返りの様子を共有**することができ、深い学びに繋げることができる。

★「見いだす」で入力したシートと見比べることで、学習の深まりを実感させることにも繋がる。

★ソフトによって、他生徒の振り返りを、ソフトの更新（保存）によって確認する場合がある。

	A	B
1	単元の学習を振り返ろう	
2	名前	表現を工夫し、随筆を書いてみて、どんな力が身につきましたか。その力をこれからの学習や生活でどのように生かしますか。
3	○○ ○○	
4	○○ ○○	
	○○ ○○	

5 情報活用能力との関連

課題の設定

情報の収集

整理・分析

まとめ・表現

振り返り・改善

発見

収集

整理、比較、処理、統計

形成、発信、伝達、表現、創造

振り返り、改善